

科目名		担当者氏名	授業形式	単位	開講時期
コミュニケーション論		飯島 正治	講義	2	前期 (幼) 後期 (健)
必修・選択	卒業要件	選択			
	資格要件				
学習目標	人間社会の大切なきずな・コミュニケーションが重要視されている。今、加速度的に情報化が進む中、コミュニケーションを単なる情報伝達としてだけとらえることなく、双方向コミュニケーションの基本に立って、身近な家族（親子）コミュニケーションから異文化コミュニケーション、さらにマス・コミ、ニューメディアによるコミュニケーションまで具体的に考え、健全な社会生活を営む上でコミュニケーションの大切さを学ぶ。				
授 業 計 画					
回	項 目	授 業 内 容			
1	概論	コミュニケーションとは？			
2	身近なコミュニケーション（1）	親子間など家庭内コミュニケーションの変化			
3	身近なコミュニケーション（2）	友人間、異性間などのコミュニケーション			
4	旧世代のコミュニケーション	大正末期から昭和にかけての子どもたち			
5	組織コミュニケーション	会社、官庁のタテ型コミュニケーションとコミュニティによるヨコ型コミュニケーション			
6	日本人のコミュニケーション	日本人独特の表現と交渉術			
7	異文化コミュニケーション（1）	カルチャーショックなど国際社会に生きる上での心得			
8	異文化コミュニケーション（2）	近隣中国と日本、友好国タイ王国と日本			
9	異文化コミュニケーション（3）	音楽にみる韓国と日本			
10	食のコミュニケーション	広がるスローフード。子どもたちの食卓風景。宇宙食など。			
11	マス・コミュニケーション（1）	テレビの影響、ラジオ			
12	マス・コミュニケーション（2）	新聞と読者、誤報・虚報			
13	コミュニケーションの歪み	うわさの発生、伝わり方			
14	宣伝・広告	その本質と影響力			
15	ニューメディア	新しいコミュニケーションメディアと生活			
参 考 書	齋藤孝著「コミュニケーション力」岩波新書 2004				
学習上の注意（自己学習、学外学習など）	講義中はメモをとること。				
評価の方法と時期	受講態度と定期試験				